

大野市総合計画に基づく施策の評価について

1 評価の目的

- ・ 施策の実施状況及び効果の検証を行い、大野市総合計画の着実な推進を図ります
- ・ 検証結果に応じて実施手法を見直すなど、効率的・効果的な行財政運営を図ります。
- ・ 市民目線の意見を取り入れ、市民ニーズに合った施策展開を図ります。

2 評価の実施主体

大野市が主体となり、外部委員の意見を取り入れながら実施します。

【外部委員】

- (1)大野市総合計画・総合戦略推進会議委員 21名
- (2)施策評価アドバイザー 1名(福井県立大学 経済学部 桑原 美香 教授)

3 評価の対象

第六次大野市総合計画前期基本計画に掲げる24の項目ごとに、68の施策を評価します。
(裏面参照)

4 評価の流れ

(1)内部評価(施策評価)

- ・ 市役所内部において、前年度の施策の実施状況及び効果を検証します。
- ・ 「施策評価シート」(全24シート)を用いて行います。

(2)外部評価

- ・ 内部評価を踏まえて、外部委員が指定された施策評価シートについて意見を出し、評価付け(A B C Dの4段階)を行います。

(3)総合評価

- ・ 内部と外部の評価に相違があった場合、推進会議代表者及び施策評価アドバイザーの意見を参考にして、市が総合評価を決定します。

5 日程

- 6月20日(月) : 第1回推進会議(内部評価結果の説明)
- ～7月11日(月) : 外部委員の外部評価作業
- ～7月下旬 : 総合評価の決定(推進会議代表者及び施策評価アドバイザーの意見を参考)
- 8月 8日(月) : 第2回推進会議(総合評価結果の報告)
- 以降～ : 総合評価結果を踏まえた施策の改善や立案(翌年度に向けて)

6 その他

当評価は、第2期大野市総合戦略及び関係計画に基づく施策の検証を兼ねます。

将来像	基本目標	項目	目指す姿	施策	
人がつながり地域がつながる 住み続けたい結のまち	こども 未来を拓く 大野っ子が 健やかに育つまち	1 子育て	安心して結婚・出産・子育てができ、すべての子どもたちが夢を持って笑顔で健やかに育つまち	1-1 結婚から子育てまで切れ目のない支援体制を確立します 1-2 保護者のニーズに応じた子育てサービスを提供します 1-3 サポートを必要とする子どもと家庭を支援します	
		2 学び	子どもたちの誰かが学力や夢に挑戦する力、ふるさとを愛する心を育むまち	2-1 優しく賢くたくましい大野人を育てます 2-2 児童生徒の学習環境を整えます 2-3 地域と学校が連携して子どもの育ちを支えます	
	健康福祉 健康で自分らしく暮らせるまち	3 健康・医療	市民が、自ら健康づくりに取り組み、地域医療体制や感染症対策が整った環境で、健やかで幸せに暮らすまち	3-1 赤ちゃんからお年寄りまで、ライフステージに応じた切れ目のない健康づくりを支援します 3-2 地域医療体制の充実を図ります 3-3 感染症などの予防や対策に取り組む体制を整えます	
		4 地域福祉	市民が、お互いに人格と個性を尊重し、支え合い、助け合い、住み慣れた地域で安心して暮らすまち	4-1 地域共生社会の実現に向けて取り組みます 4-2 高齢者が安心して生きがいを持って暮らせるよう支援します 4-3 障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援します	
		5 スポーツ	市民が、それぞれのライフステージでスポーツを楽しみ、健康の増進と競技力の向上が図られ、豊かで充実した生活を送るまち	5-1 スポーツを楽しむ取り組みを推進します 5-2 競技力の向上を支援します 5-3 子どものスポーツ活動の充実に取り組みます	
	地域経済 歴史・風土と新たな強みを生かした活力あるまち	6 農業	次世代技術を生かした農業の普及が進み、多様な担い手によって、活力ある農山村が引き継がれているまち	6-1 魅力ある農業経営を実現します 6-2 特色ある経営者の生産・販売を促進します 6-3 多様な人材の活躍による農山村の維持と活性化を目指します 6-4 農地の適切な整理と有効利用を図ります	
		7 林業	豊かな森林資源を活用した林業により、資源の循環と森林の多面的機能が発揮されたまち	7-1 林産物の生産能力の向上を支援します 7-2 山林を適切に管理します 7-3 林業従事者の確保と育成に取り組みます	
		8 商工業	人の交流や物流が拡大し、多くの店舗や企業が活気に満ちたまち	8-1 事業者の経営課題に対し総合的に支援します 8-2 まちなかのにぎわいを創出します	
		9 観光業	県内外や国外から多くの観光客が訪れ、にぎわい、経済活力にあふれるまち	9-1 魅力ある地域資源を磨き上げ、観光資源として活用します 9-2 観光客の来訪を増やし満足度を高める取り組みを推進します 9-3 観光産業活動の強化と情報発信を充実します	
		10 働く環境	新たな魅力ある企業の立地や市内企業の働きやすい環境整備により、若者や子育て世代をはじめ、市民が生き生きと働くまち	10-1 企業の魅力や生産性、労働環境の向上と、多様な人材の就労を支援します 10-2 企業誘致を進めるとともに新たな産業を育成します	
	くらし環境 豊かな自然の中で快適に暮らせるまち	11 自然環境・こみ	市民が誇る豊かで美しい自然環境が維持され、循環型社会が形成されたまち	11-1 脱炭素社会の実現に向けて取り組みます 11-2 環境の美化と環境教育を推進します 11-3 こみの減量化と資源化を推進します	
		12 水環境	恵まれた水環境や地域固有の水文化が継承され、人と水との豊かなかわりか実現されたまち	12-1 流域マネジメントを推進します 12-2 水循環に関わる人材の育成と水文化の継承を推進します 12-3 気象変動や地下水障害への対応に取り組みます 12-4 河川や地下水の水質保全に取り組みます	
		13 生活環境	大野らしい景観が守られ、快適に暮らすことができる生活環境が整ったまち	13-1 景観に配慮したまちをつくらします 13-2 安全で快適な住宅環境を整備します 13-3 上下水道基盤を整備し適切な維持管理を行います	
		14 消防・減災	災害に強い強靱なまちづくりが進み、緊急時の情報伝達や消防・救急の体制が充実したまち	14-1 災害に備えた体制を整備します 14-2 消防・救急体制を強化します	
		15 道路	生活や産業の基盤となる安全な道路と広域ネットワークが整備され、通勤圏や市場が拡大し、交通人口の増加によりにぎわうまち	15-1 幹線道路などの整備を促進します 15-2 雪や災害に強い生活道路を整備、維持します 15-3 健康づくりや低炭素社会の実現などに向けて取り組みます	
		16 公共交通	誰もが利用しやすい公共交通網が整備されたまち	16-1 公共交通の維持とまちづくりへの活用を推進します 16-2 北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道開通、人口減少社会を見据え、地域交通のあり方を検討します	
	地域づくり みんなでつながり地域が生き生きと輝くまち	17 ひと・地域	市民が、生涯にわたって主体的に学び、地域づくりに積極的に取り組むまち	17-1 地域を担う人づくりや生涯学習を推進します 17-2 地域での交流を深め、支え合いを広げます 17-3 地域住民が利用しやすい活動拠点をにつくらします	
		18 防災力・防犯力	地域の防災力・防犯力が高まり、災害や事故に備えた体制が整ったまち	18-1 地域における防災力の充実と強化を図ります 18-2 犯罪や事故を防止します 18-3 空き家などの対策を推進します	
		19 文化芸術	市民が文化や芸術に親しみ、文化財や伝統文化が継承され、郷土の歴史や文化の魅力が発信されているまち	19-1 文化芸術の振興と継承を推進します 19-2 文化遺産・自然遺産を保護し活用します 19-3 郷土の歴史や文化の魅力を発信します	
		20 移住定住	「大野に住みたい、住み続けたい」という人が増え、移住者を受け入れる環境が整ったまち	20-1 住まいや仕事の確保を支援します 20-2 地域での受け入れ環境を整えます 20-3 大野の魅力を伝えます	
	行政経営 結のまちを持続的に支える自治体経営	21 情報共有	市内外に大野の魅力が発信され、市民に行政情報が正確に伝わり理解され、市民の意見が市政に生かされているまち	21-1 情報発信や情報提供の充実を図ります 21-2 施策などの情報を市民と共有し、市民の意見を市政へ反映します	
		22 協働・連携	自治会や団体、学校、企業、行政など、さまざまな活動主体が、お互いの立場と役割を理解し、協働・連携してまちづくりに取り組むまち	22-1 市民協働のまちづくりを進めます 22-2 他の自治体などとの協働や連携によるまちづくりを進めます	
		23 市民サービス	デジタル化が進む中、誰もが利用しやすい市民サービスが提供されているまち	23-1 申請などの手続きのオンライン化を推進します 23-2 分かりやすく丁寧な市民サービスを提供します	
		24 行財政	計画的で効率的な財政運営と、市民の期待に応えられる人材と組織により、安定した自治体経営が堅持されているまち	24-1 持続可能な財政運営を行います 24-2 次世代を見据えた「シゴト改革」に取り組みます 24-3 人材育成と組織の整備を進めます 24-4 市有財産を適正に管理し、効果的に効率的な活用を図ります	

施策展開

SDGsの推進
分野を超えた連携
ニューノーマルへの適応とデジタル化の推進